

Fellowship for the Advancement of Radiology

情報誌

F A R

22 号

事務局：(社) 日本放射線技術学会事務局内

〒600-8107 京都市下京区五条通新町東入東鋸屋町 167 ビューフォート五条烏丸 3F

TEL:075-354-8989. FAX:075-352-2556/http://www.jsrt.or.jp. Email:office@jsrt.or.jp

《ごあいさつ》

真夏の夜の思い出

副会長 山田勝彦



FAR 会の皆様、今夏の猛暑の中お元気ですか。でもこの情報誌が皆様のお手元に届く頃には少しは涼しくなっていることとは思いますが、この原稿を書いているのは8月中旬、まさに酷暑のまっただ中です。

3月に大学を退職し、初めての自宅での盛夏を迎えています。地球温暖化の影響による気温上昇に加えて高齢化も手伝い、暑さには耐え難い毎日を過ごしているのが現状です。

でも幸か不幸か仕事をする機会も少しは減り、在宅の時間が少し長くなったせいか、遠い昔を思うことが時々あり、とくにこの酷暑の中にいますと、幼少の頃の実に楽しかった真夏の夜のことが沢山思い出されます。

これらの思い出を少し並べてみますと・・・、真夏の太陽が西の空に沈み始める夕方ともなると、母に呼び返されて大きな木のタライで行水をしてもらい、一日の汗がすっかり流れて、実に気分爽快になったこと。

夕食も終わり夜空に月の昇る頃ともなれば、玄関の前に父が床几を持ち出し、タバコとうちわを持って夕涼みをしながら、お向かいやお隣の方々と談笑していたこと。そしてその周りには大勢の近所の子供達が、年長のお兄さんを中心に、小さな幼児までが一緒になって楽しく遊びまわっていたこと。ときには流れ星を数えたり、夏の星座を教えてもらったり、結構このような夏の夜空で教えてもらったことは、多くの思い出として今も記憶に残っています。

また、夜ともなれば一流れの蚊帳の中で、家族みんなが一緒に寝るという一年中でもっとも楽しかった思い出。そしてときには、夕涼みで聞いた恐ろしい怪談を思い出して寝付かれなかったこともありました。

このように隣人や家族を中心にした生活環境の素晴らしさ、そして子供達の年令を超えた縦の繋がりなどは、毎日の生活の中から自然に生まれ育ってきたものなのでしょうが、今の社会では最も欠落している事の一つではないでしょうか。残念です。

今夜も私はクーラーに浸りながら、オリンピックや野球のテレビを見ようと思っていますが、酷暑に耐えている今の私とは違って、子供の頃の夏は一年中で最も楽しかった季節でした。そして素晴らしい沢山の思い出がいっぱいあります。

きっと FAR 会員の皆さんもそうであったことと思います。

今年の秋の FAR 会では、平林久枝、飯山清美、両女性委員が「2008 軽井沢・草津への旅」を企画されています。信州の夜空ではきっと美しい星空が見えることと思います。私も星を眺めながら懐かしい昔の夏の夜を思い出してみたいと今から楽しみにしています。是非とも多くの会員の方々のご参加をお待ちしています。

内 容

- | | |
|--------------------------------|----------|
| 1. ごあいさつ | 副会長 山田勝彦 |
| 2. FAR 会の楽しい催し「2008 軽井沢、草津への旅」 | |
| 3. 「2008 軽井沢、草津への旅」 | |
| 歓迎のご挨拶 | 佐野芳知 |
| 4. 特集「最近の私」 | (五十音順) |
| 1) 読書と映画 | 大塚昭義 |
| 2) 高速バス通勤模様 | 加賀勇治 |
| 3) 50 歳の再出発 | 草山泰子 |
| 4) 銀杏の思い出 | 萩原 明 |
| 5) 新たな出発 | 藤田 透 |
| 6) アマ五段を目指して | 前越 久 |
| 5. 会員の広場 | |
| 寄稿 | 萩原康司 |
| 6. JSRT 情報 | |
| 7. 会員情報 | |
| 8. 会からのお知らせ | |
| 9. 第 23 号特集 原稿募集 | |
| 10. 連載《四国八十八ヶ所霊場巡り⑬》 遠山坦彦 | |
| 「四国八十八ヶ所霊場巡りを終えて」 | |
| 11. 編集後記 | |